

# 第4回 高校生との意見交換会

～光の窓から日本の空を～



平成31年2月9（土） 13：00開催

場所 光市議会本会議場



## 次 第

- 開会セレモニー
- 議会の仕組み等の説明
- 高校生の主張「光市人口、どうしたら増える？」
- 市役所見学
- 高校生と光市議会の意見交換
- 閉会セレモニー

## 1 高校生の主張



**光丘高等学校** 【発表者】 原田 海希さん

みなさん、こんにちは。光丘高校2年の原田海希です。今日は「光市の人口、どうしたら増える？」のテーマについて発表させていただきます。

私は長崎県に生まれ、佐賀県で少し暮した後から山口県に移って浅江に住むようになりました。浅江小、浅江中を経て、今、将来の夢に向かって、光丘高校で学んでいます。この街に育って、光市はとても住みやすい街だと思っています。光市にはたくさんの自然があり、保育園・幼稚園から小中学校、高校までの教育機関が充実し、そして病院も総合病院から地域のかかりつけ医までそろっています。さらにそれぞれが強い地域とのつながりを持っていることが、特色だと思います。そんな私の大好きな光市の良さを、もっとたくさんの人に知ってもらう。そのことが光市に住む人を増やし、人口の増加につながる入り口ではないでしょうか。今日は私なりに考えることを発表させていただきます。

光市に人口を増やすために私が考える対策は、「自営業のお店をもっと大切にする」ということです。私が自営業のお店の援助にこだわる理由は二つあります。

一つ目は、他の近隣地域との差別化です。最近では、近隣の地域でもショッピングモールのような大型商業施設が増えてきており、個人で経営されている商店は減ってきているようにみえます。確かに、そうした大規模な店舗では商品を大量に仕入れることができるため、一つ一つの商品をより安く、多くの種類の手に入れることができるでしょう。しかし、自営業のお店には店主が選んだ商品がそろっており、こだわりの商品を手に入れることができます。光市にはこだわり商品を販売するお店をそろえることによって、光市に近隣地域にはない新しい魅力が生まれると思うからです。

二つ目は、大都市圏からの移住の促進です。現在都市に住んでいる人にUターン、Iター

ンなどで光市への移住を促し、お店を開いてもらいたいからです。今、光市にある自営業のお店は昔ながらのお店が多く、地域に密着したお店が多いと感じます。Uターン、Iターンで来てもらった人に、違った目線から見た光市の良いところ、良いものを売りにしてお店を開いてほしいと考えます。

これらの理由二つの中でも二つ目の「Uターン、Iターンを促す」ということをより現実的にするために、私は二つの案を考えました。一つ目は、起業をめざして移住してきた人に、お店となる「場所の提供」と「補助金の提供」です。開業できる環境を整えることによって、遠くから移ってきた人も安心して起業することができます。

二つ目は、光市内にある自営業のお店でのみ使える商品券の発行です。出来れば衣服、食品、食事券といったように、分野ごとに商品券があることによって、日頃は大型商業施設しか利用しない人でも、一つでも多くの個人営業のお店に興味を持ってもらい、立ち寄ってもらうための良いきっかけになります。

このように新しく起業する人、現在自営業を行っている人、商品を購入する人それぞれにそれぞれのきっかけがあることで光市がより盛り上がる大きな一歩になるのではないのでしょうか。

最後に、光市の人口増加のために、最も重要なことは、まず将来の光市を担っていく私たちが胸を張って「この町が大好きだ」と言えるようになる必要があると思います。一人ひとりの光市への「こだわり」が集まることによって、光市を知らない人に光市の魅力が伝わり、人口増加につながるのではないのでしょうか。

#### ○岸本議員

私は、商工会議所でプレミアム商品券の第一号を発券する時の実行委員長をさせていただきました。今、言われた分野別の商品券は考えつきませんでした。光市では次年度、商品券を発券する予定です。今のご意見を委員会等で提案させていただきたいと思います。

#### ○田邊議員

前段で光市の特徴を述べた上での、人口の増加につながる意見、分野別の商品券、光市の住みやすい所などの意見でしたが、なかなか気が付かない事だと思えます。大変参考になりました。

#### ○田中議員

「光市が好きだ」という意見をお聞きし、うれしく思いました。個性のある小売店舗、作り手の魂等を、情報発信していければと思う。起業に向けての意見では、「空き家バンク」という施策がありますが、移住定住に向けて、制度をたくさんの人に知ってもらうことが必要だと思いました。

#### ○笹井議員

私は、光市で生まれましたが、大学や就職のため他所に出て、35歳の時に光市に戻ってきました。今は、空き家を改装して「食べ物屋」の店をしています。色々な商売仲間に話を聞きますが、今は、お客さんが光市だけでは商売は難しいので、外に出て行かなければいけないという仲間が多くいます。工務店ではホームページを利用して注文が入れば、広島や北九州等で仕事をしている。おもちゃ屋さんですと、新しいカードゲームが発売され、ホームペ

ージにアップすると山口市から学生が買いに来たり、光市を超えた動きが始まっています。光市商工会議所では、「光まちゼミ」という講座を開催し、店長が講師となって、専門店ならではの知識や趣味を教える少人数講座で、27店舗、370人の参加がありました。また、大都市からの移住については、引っ越しや開業は極めてリスクが高く、借金してやるので、失敗したら大変なことになります。そういったリスクをできるだけ減らすための支援策として、移住であれば期間限定で、空き家に住んでもらい、その土地を知ってもらうという制度を他市ではやっているところがあります。ビジネスでは空き家を安く貸し出して、イベントでの試験販売などをしてもらうことも考えられます。商品券も過去、プレミアム商品券を平成26年から28年までの3年間、発行しましたが、最初の年は「どこでも使える券」を出したら、大型店舗で78%利用されました。そこで、2年目からやり方を変え、「どこでも使える券」と「小型店舗のみ使える券」をセットで販売したら、3年目には大型店舗で60%、小型店舗で40%ということで、小型店舗の利用が増えてきたという事例があります。商品券につきましては、来年度も何か動きがあるようですが、今のご提言等を踏まえて、今後、自営業の特色を生かした取り組みを考えて、提言していきたいと思えます。

光高等学校

【発表者】 岡本 晃芽君



私は、今回の題目である「光市の人口、どうしたら増える？」について、意見を述べたいと思えます。

調べたところ、光市の人口は昭和59年の58,715人をピークに、平成30年には50,036人まで減少しています。超高齢社会と呼ばれる日本で、このまま光市の人口が減少すると、働き手が減り、市の財政の圧迫につながるとともに、地域の交流等もなくなり、人々の助け合いや、地域の行事も減少してしまう可能性があります。さらに、人口が減ると、電車やバスの本数、買い物をする店舗の減少にもつながる可能性があります。光市に暮らし、学校に通う私たちにとっても、光市の人口減少は見過ごせない問題です。

光市の人口を増やすためにまず大切なこととして私が考えることは、光市における若い人たちの定住です。20~40代の人たちが光市に家を持ち定住することにより、税収が増え、市の財政も安定すると思えます。また、定住した若い人たち同士が結婚し、子どもが増えることにより人口が増え、学校行事も充実し、地域の人たちと子どもたちとの交流も増えるのではないかと考えます。

では、どのようにすれば若い人たちが定住するようになるのかを考えてみたところ、まず一つは雇用先の増加が必要だと思えました。しかし、ただ単に大企業を誘致して、雇用の数を増やすのではなく、人それぞれの得意なことが活かされるよう、職の内容の選択肢を増やすために、光市で新たに起業したい人の支援を充実させてはどうかと考えました。例えば、飲食店を開きたい人に、光市にある空き家を紹介し、開店までの費用等を市で補助することや、若者の就職先として人気を集めており、今後、生活に欠かせないものになるであろうIT分野の起業を補助する制度、減税などで重点的に誘致し、市のPRやイベント、HPづくりなどの市が行っている仕事に積極的に関わっていくのもいいと思えます。

二つ目に、光市が子育てのしやすい都市であることの積極的なPRが必要だと思えます。光市では「みつめ だきしめ かたりあう～心温かい人が育つまち“ひかり”～」を基本理念とした「おっばい都市宣言」をしています。私はこの「おっばい都市宣言」の言葉は耳にしたことがあったのですが、その内容や目的、取り組み等はほとんど知りませんでした。私の

友人やクラスメイトに聞いても、同じ反応だったので、改めて、おっばい都市宣言がどういったものであるか調べてみたところ、子育てサークル活動、子育て支援センターにおける相談などの子育て支援をはじめ、コミュニティスクール推進事業や青少年健全育成のための取り組みなど、児童・生徒に対しての支援なども充実していることがわかりました。実際、私もジュニアリーダーとしてボランティアやイベントに参加したことがあります。地域の方々とのふれあいはとても楽しく、貴重な体験となりました。「おっばい都市宣言」にかかわる様々な取り組みをもっと知ってもらえることができれば、光市に住みたいと思う若い人たちが増えるのではないかと思います。まずは、小・中・高の児童・生徒が進学や就職で市外・県外に出て行ったとしても、光市にいずれ戻ってきってもらうために、学校と協力して定期的に講演会を開くなどの「おっばい都市宣言」に関する取り組みの周知を図ることが大切だと思います。また、これから子育てをしようとしている方々に対しての認識を深めるために、「おっばいまつり」のようなイベントをもっと増やすことや、そのイベントの告知を大々的にするなど、工夫が必要だと思います。

最後に、日本の地方は現在「人口減少の克服」、「地方創生」を必要とされています。この課題は行政だけが抱えるのではなく、私たち住民一人ひとりが人口減少に対する危機感を持ち、市民全体が協力しながら解決する問題であると思います。光市のため、我々に何ができるかを、これからもみんなで協力して考えていきたいと思っています。

#### ○田中議員

若者定住、結婚、そして年収のアップ、それにより子供も増え学校行事も増え、地域の人との交流も増え、好循環が生まれるというような非常に建設的なお話を聞かせていただき、驚いております。

その中で、子育て「おっばい都市宣言」について触れていただきました。光市は、世界で唯一の「おっばい都市宣言」をしております。中学校の時に「未来のパパママプロジェクト」といって、市内に2つある大きな産婦人科で、あかちゃんと触れ合う事業を行っております。体験された方もいらっしゃると思いますが、これが全国的に見ても先駆的な取組みで、全国から視察にも来られて、同様な事業を導入しているところもあります。岡本君がこうやって発表してくださったので、皆さんにお知らせする機会になりましたが、こういった子育てにやさしい街というところを、ぜひ広く知っていただいて、子育てしやすいまち、住むなら光市ということを、発信していただきたいと思っています。

また、ぜひ、高校を卒業して皆さんそれぞれの進路があると思いますが、光市に定住していただけたらと思います。光市のために我々に何ができるかということ、最後に述べてくださいましたが、私も考え続けていきたいと思っています。

#### ○仲山議員

皆さんがこのまちから、いったん何かを身につけるために出ていかれることも多いかと思っています。その先で「おっばい都市宣言」をしているまちなんだよと、周りの方にアピールしていただければ、そういうことが、光市を知ってもらうことに、つながっていくんだと思います。

また、出て行った後、戻ってきってもらうために我々も、戻ってきた人がこのまちで活躍できるように、いろんなことを考えていかなければならないということ、改めて感じました。

## ○森重議員

「おっばい都市宣言」に触れていただきましたので、女性の立場から、感想を述べたいと思います。岡本さんは光市の人口増に対しまして、一つには若者が起業しやすい支援が大事ではないかということをおっしゃいました。もう一つ、光市の「おっばい都市宣言」としての取り組みですが、さきほどの原田さんの主張にも関連しますが、「こだわり」というのはひとつは人々が納得できることであり、また、価値観を感じるころだと思っております。光市がこだわっているところ、そういうところが、これからのまちづくりには重要ではないかと思っております。物が豊かになりまして、溢れている時代ですけれども、「じゃあ光市は何にこだわってまちづくりをしていくのか」これは大切な視点だと思います。

「人口減少の克服」また「地方創生」というような今の行政が取り組んでいかねばならないような言葉もいろいろ述べられていました。なかなかお答えが難しいですが、光市は、まちづくりの「こだわり」として、「おっばい都市宣言」これを一つの柱としております。安心して子どもを産み育てられる環境づくり、また、あたたかい子育てを象徴するふれあいの子育てを推進していくのが、この光市のまちづくりです。

皆さんが大好きな光市から、いったん出られてもまた帰ってこられて、このまちでみんなで見守りながらの子育てをしていけるようなまちづくりを私ども市議会も力を尽くしていきたいと思っております。

## ○磯部議員

一番に大きな視点は、若い方に定住してもらうこと。これはみんなが思っていることです。ぜひそれをやるための手法として2つ言っておりました。

1つは起業・創業支援です。私たち議会も行政も一緒になって平成28年からこの創業支援制度が始まっております。小規模事業者の支援制度というのは様々なメニューがあるんですけども、28年から起業、いわゆる創業支援制度、資金制度が、始まりました。29年度には、4件発生しまして、そして30年度はまだまだその数が増えていると聞いております。この行政からの支援制度を使わずに、今、新しいこだわりのお店や自分の特技を生かしたお店が、なんと約60店くらいできているという調査も聞いております。まだまだこれから、岡本さんや原田さんも言われた起業・創業支援ということについて、光市も頑張っておりますので、新たな視点を言っておいただき、生かしていきたいと思っておりました。

2つ目は子育て支援です。「子どもを育てるなら光市よね」ありがたい言葉ですよ。私たち議会も、平成7年3月24日にこの「おっばい都市宣言」を、初めて決議しました。そして合併して新たに平成17年にまた議会で6月30日でしたでしょうか、この「おっばい都市宣言」をしたところです。

平成6年から母乳推進率、母乳育児というところから始まった「おっばいまつり」は、昨年26回目を迎えました。「見つめ、抱きしめ、語り合う」本当にみんなで子どもたちを支える、大人が子育て支援の皆様を応援する、そういう仕組みを、「おっばいまつり」を通して普及してきたつもりなんですけど、岡本さんご指摘のとおり、まだまだよく中身が知られていない。これは私たちの反省点でもあると思っておりますので「おっばいまつり」の中身を考え、おっばい都市宣言の内容を私たちも一生懸命いろんなところで、PRしていきたいと思っております。

未来のパパママ応援事業について、予算はあまりかかってないんですけど、子どもに対する、未来のお父さんお母さんになるための心の成長を光市は一生懸命取り組んでいるところです。経済的支援というのは、他市町と比べてどちらの方がいいのかということはあるかも

しませんが、光市は、心を大切にされた子育てをしっかりと応援・支援しているということ、今日、みなさんに知っていただいて、これからも光市って見えないところでも、あったかい心で子育て支援を行っているんだということ、持ち帰っていただきたいと思っております。そして、子育てするなら光市に戻って来よう、そして一緒にまちづくりをしていただきたい。私たちも一緒に頑張っていきたいと思っております。ご指摘ありがとうございました。

そして最後に、感動したんですけれども、岡本さんが最後に言われました「光市だけ、行政だけの課題ではなくて、光市民が一人ひとり、自分ができることは何か、私たちに何ができるのか」そういうことも一緒に考えて、「みんなで協力して課題解決のためにやっぺいこう」こういう言葉こそ、地域の輪、みんなの輪を高めていく、それが大きな力になるのではないかと思います。

## 聖光高等学校

【発表者】

岩神 葉花さん



私は聖光高等学校の岩神葉花と申します。大和の出身です。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

「光市の宝は何か」と聞かれたら、私は「豊かな自然」と「人々の温かさ」を挙げます。高校生の私たちにはテーマパークとはいかないまでも、もう少し娯楽施設があったらいいのに、と思うこともあります。ですが、長い目で見ると光市の「おっぴい都市宣言」からも分かるように、子育て支援も充実しており、子育てに必要な施設も多く、周囲は農地や山に囲まれているため、閑静な環境で生活できています。近年は地域のコミュニティも充実しており、お年寄りにも優しい町です。こういう町に住み、子育てをし、老後を迎えることができたら本当に最高です。今回、私は光市の人口を増やすための方法ということで2つの提案をしたいと思ひます。1つ目は光市の宝である「豊かな自然」と「人々の温かさ」の有効利用です。自然を売りにしたイベントをこれまで以上に行っていくことで、もっと光市を盛り上げることができます。その際には市外、県外の方々へのおもてなしとして地域の方々のボランティアなども積極的に取り入れることも必要です。当然、高校生の力も必要になります。聖光高校では総合ビジネス科の生徒が光市のイベントの際にはパソコンを使ってポスター制作をし、それを利用しての啓発活動に協力をしてきました。また、このようなイベントの会場に最近流行りのインスタ映えスポットを作ることで若年層にも受け入れられるかもしれません。

もう1点は現在利用していない家屋の積極的な利用です。光市には誰も住んでいない家屋、利用していない店舗等がたくさんあります。それをそのままにするのではなく、市外、県外の方々光市に来られた際に安い料金で宿泊できる施設にしたり、地域の方々のふれ合いの場として気軽に通うことのできる場にするによって、有効活用していくことができると考えます。また、Uターン、Jターン等で光市での生活を希望するの方々のために安い家賃でその空き家を生活の基盤となる住まいにすることができたら、もっと多くの方々に、光市を注目していただけることになるのではないかと思います。以上2点を提案させていただきます。

私は高校時代、JRC部に所属して、地域の幾つかのイベントのお手伝いに参加をさせていただきました。そこで、私はお手伝いに行ったはずなのに、地域の方々に感謝の言葉やねぎらいの言葉をいただき、逆に私の方が温かい気持ちにさせていただいた場面があり、本当に光市という町で生まれ育って良かったと感じることがありました。この経験から、将来は

この生まれ育った光市で市民の方々のためになる仕事をしたいという夢をもつようになり、この4月より光市役所の職員として、働かせていただくことになりました。私も光市民の一人として、市役所の職員として、光市に誇りを持ち、この町のため、人々のために尽力していくことをここにお約束します。ご清聴ありがとうございました。

#### ○森戸議員

素晴らしいスピーチをノー原稿ですごいと思いました。発表の中で、光市の宝として、「豊かな自然」と「人々の温かさ」を示していただきました。以前、私が周防のあたりを車で走っているとき、溪月院のところに一台のバスが停まっていた。そこには20人ぐらいの人がいたので、どうしたのか聞いてみたら、虎ヶ岳に登るということでした。さらに、どこから来られたか聞いてみると、広島から来ましたということで、たぶん高速を利用して来られたのだと思います。地元の人に聞いたら、何度もバスが停まっているとのことでした。山に登るというのは、私たちでは気が付かないことで、他の街の人に聞いてみないとわからないと思いました。まずは、自分で体験してみたり、他の人に聞いてみることも必要だと思います。改めて、光市の宝を気付かせていただきました。

それから、家屋の積極的な利用ということで、三井とか周防地区には利用していない古い家屋がたくさんあります。白壁の家や昔の庄屋さんなんかの大きな家屋を改装して、カフェを開いたりするところが何軒かあります。周防地区だけでなく、室積地区にも何軒か出ていますので、古い家屋自体も光市に素晴らしい宝だし、そういう環境にあるということ、私たちも積極的にPRしていきたいと思っています。

#### ○萬谷議員

若いにも関わらず、「豊かな自然」と「人々の温かさ」を感じていただく感性の良さに感動しています。「人々の温かさ」と言いながらも、インスタ映えのスポットを作るという若い人特有の意見を取り入れていきたいと思っています。市の職員となられても、その意見を反映できるように、積極的な仕事をしていただきたい。ボランティアについても、ボランティアに行った本人が、力をもらえるというのは、温かい心を持った人が多いという、光市の特徴だと思います。今回の発表はすごく感動しました。

#### ○大田議員

岩神さんは同じ大和地域出身なので、小さいころからお見受けしていますが、こんなに大きく成長され、立派なご自分の意見を持たれたことに感動しました。この街に住み、子育てをし、老後を迎えられたら最高だ、という意見はシンプルな言葉ですが、心に響き残っています。これこそ我が街のあるべき姿かなと思っております。「豊かな自然」や「人々の温かさ」を利用した施策は、現在すでに本市が取り組みを進めているものもあります。空き家の活用についても、平成27年から運用し始め、効用が出てきていると聞いております。地域ボランティアの協力についても、昨年の豪雨災害の復旧時には、市内から多くのお手伝いの方が集まり、地域の温かさは光市の宝だと強く感じています。おっぴい都市などの光市の様々な取り組みに加え、市民参加のウェディングのイベントなどで、あなたたち若い感性やわくわく感をうまく、私たちのまちづくりに組み込んでいくことが大切だと感じています。

岩神さんは4月から光市の職員になられるそうですが、あなたの夢である素敵な出会いをされ、光市で結婚、子育てをされ、おばあちゃんになられるという、幸せな人生を送ってもら

えるよう、心から願っております。そういうふるさとづくりのため、職員と議員とで立場は違いますが一緒に頑張っていこうではありませんか。次代を担う皆さんにとって、この街が誇りを持てるふるさとになるよう努めてまいりますので、今日のこの意見交換会が皆様一人ひとりにとって、新しい第一歩として、大きく踏み出していただけることを希望します。

## 2 高校生と光市議会の意見交換 要点筆記

①聖光高等学校 大坪 弘樹 君

◇市議会議員になって良かったことは何ですか。

○木村議員 議員は選挙の時、一地区から選出されるというところはあるんですが、市議会議員になって市全体を考えることができました。市長は一人ですが私たちは18人います。その18人が18分の1だけではなく、1分の1にならないといけないという事を、改めて思い知らされたことが、一番良かったと思います。



○中本議員 議員になってかなり経ちますが、最初は責任感を感じ、大変なことになったと思いました。その後、自分の思っているまちづくりについて、行政といろいろな議論ができ、改めて、光市域全体を知ることができました。こんな美しいまち、素晴らしい環境があると改めて感じました。一番良かったのはいろいろなまちづくりができたことです。

②聖光高等学校 赤岸 隆雅 君

◇福岡に住んでいる姉が妊娠して光市に帰るのに、新幹線で徳山駅から光駅に着いたのですが、光駅のホーム内にある階段がかなり急で、上り下りが難しいため、徳山駅で降りて、そこから車で帰ることとなりました。バリアフリーを検討した方がいいと思いますが、どうでしょうか。

○大田議員 現在、「光駅周辺地区拠点整備基本構想」において、光駅のバリアフリー化、橋上化などを含めて、市と議会で検討している段階ですので、もうしばらくお待ちください。

③光高等学校 岡本 晃芽 君

◇室積の普賢まつりに自分も行くんですけど、夜遅くなるとバスがないので、帰りに困っています。さきほど、鉄道が室積にあるかどうかという〇×クイズがあって、昔はそういう計画があったということを知ったんですけど、今は考えられていないのでしょうか。

○笹井議員 私は室積生まれ室積育ちで、いろいろ調べてもきましたのでお答えします。山陽本線は明治27年に大阪から広島までできまして、最終的に下関までつなげる予定でしたが、鉄道を柳井から海側を通すことにつて、山口県から室積の村議会に相談がありました。その時、汽笛の音で魚が逃げるとか、当時室積から大阪まで定期便の船が出ていたこともあり、それに差し障りがあるということで、室積村議会の協力が得られなかったという話です。

そうはいつでも国は鉄道を通さなくてはいけないので、反対の運動があまりなかった田布施、島田、虹ヶ浜を通って徳山までが明治30年にできました。その時、一度、室積を通るという話はあったのですが、結局今のルートになってしまいました。それ以降、鉄道を通そうという具体的な動きは全くありません。

普賢まつりですが、私どもが小さい頃は臨時バスが多く出ていましたが、ただ、バスも採算が必要で、お客さんが乗れば臨時便を出すんですけど、最近あまり乗らないため定期バスだけで、済ませているようです。夜の便が確かに少ないと思いますが、いつもいろんなバス会社が「乗って十分に利益が出るなら出しますよ」と言われますので、そういう取組みなどを考えてみたいと思います。

#### ④光丘高等学校 鴨居 優花 さん

◇光市と云えば「ここだ」という、お勧めの場所はどこですか。

○森戸議員 周防地区の「旭橋」辺りの、「せんすい橋」が好きです。

○仲山議員 室積海岸、虹ヶ浜海岸から眺める「夕日」が一番好きです。

○西村議長 戸仲の浜から「夕日」が見える場所で、大水無瀬の灯台に「夕日」が沈むところがいいと思います。

○林議員 大和の東荷、「伊藤博文公の生家」は紅葉の時期に見る、モミジとイチョウのコントラストがとても美しく、絨毯の上を歩いているようです。また、大和の石城山は昔、山城もあり第二騎兵隊が駐屯した場所で、私の好きな場所ですので、紹介させていただきたいと思います。

#### ⑤光丘高等学校 松村 朱夏 さん

◇議員の皆さんが、光市で自慢したい所、他の県とか市に自慢したい所はどこですか。

○河村議員 外に出ていくと、光市はこんな所です、と伝えなくてはいけないのですが、私は光井で育ちましたので、瀬戸内海の虹ヶ浜、室積の海水浴場を抱えた光市は素晴らしいと、お話しさせていただいています。自然は確かにいいわけですが、そこに暮らすと自然の厳しさも味わう事になり、そのために私たち議員がいると位置付けています。色々なことを経験しながら、過ごし易いまちにしたいと思っています。

○仲山議員 「早長八幡宮」の秋祭りです。山車が14基出て、木遣り歌を歌いながら綱を持って引き回すんですが、他にもないくらい、おもしろい祭りです。

#### ⑥聖光高等学校 岩城 龍馬 君

◇今後、自然災害、南海トラフ地震等が起きたとき、光市ではどんな対策を考えていますか。

○笹井議員 光市では地震が起きたとき、どの程度の影響があるか、どのような対策を取るか、計画しています。津波については県と協力して、ハザードマップを作り、全市配布して

います。昨年、大きな災害が島田川沿いでありましたので、避難所の見直し、防災倉庫の見直しなども検討しています。市役所も耐震性がないので立て直しを検討していましたが、昨年、災害がありましたので、まずは、現場の災害防災体制を整備することに力をいれるため、市役所については当面そのままですが、防災施設については、地震や津波があったとき動かなくなってしまうので、そういう取り組みは来年取り組んでいく予定です。

⑦光高等学校 鞆光 祥希 君

◇僕たちの代から入試改革というので、英語のスピーキングなどが入ってきます。先ほどから聞いていたら、皆さんしゃべるのがほんとにお上手で、感心しているんですけど、どうしたらそんなに話すのがうまくなるかを、教えていただけたらうれしいです。

○西村議長 英語を上手になりたかったら、外国人の人を恋人にして、毎日英語で愛を伝える、これが一番上達する方法です。我々議員のように上手に話したいと思ったら、授業の前に3分間スピーチを仲間の前でやるのがいいです。「僕は、どこそこ大学を目指して、毎日こんなことを勉強しています」と、スピーチを3分間して、同級生の皆さんに採点をしてもらう。「いつもアーとかエーとかいうねえ」とか、「しゃべるときにモゾモゾするねえ」とか、客観的に評価をしていただいたら、すぐ上手になります。

⑧光高等学校 藤井 愛美 さん

◇私は徳山から電車で光高校に通っています。去年の夏の災害のときに、電車が止まって何度か自転車で通ったこともありましたが、今も少し山が崩れたままで、そこで、電車が一時速度を落としているんですけど、いつ完全に復旧するのか教えて欲しいです。

○大田議員 今現在、応急処置で通過できるようになって、そこを通るときには、時速15キロぐらいで安全を確認しながら通っております。今現在工事しているのは、国・県の仕事で、完全に復旧するには、もう少し時間がかかるだろうと推測しております。いつまでに工事が完成するとかいうのは、こちらのほうで把握しきれておりませんので、ご了承願いたいと思います。

○田中議員（司会） 日々通学する中で気になっていることと思います。一部セメントで固めたりしていて、工事の進捗状況も見えますので、ご理解いただけたらと思います。

⑨光丘高等学校 橋尾 萌香 さん

◇三、四年後に光丘高校と光高校が統合しますが、光丘高校に通う生徒として、その後の母校がどうなるのか気になるので、教えていただけますか。

○笹井議員 どちらも県の高校ですので、直接、光市や光市議会で、答えられることではないんですが、光市にとって大きな問題です。光市内で、山口県教育委員会の説明もありましたし、光市議会でも山口県教育委員会に確認するような質問をしているところです。スケジュールはご存知と思いますが、新しい高校を今の光高等学校の所に造り、平成32年から新しい高校の募集を始め、平成34年には全ての生徒が新しい高校の生徒になるというのが県の見解です。ただ、光高等学校の場所に造るという事ですので、光丘高等学校については、

今年の4月の入学生が光丘高等学校で学ぶ最後の生徒になるというスケジュールです。今の光丘高校の跡の場所をどうするかについては、県の施設でもあり、表立った方向は打ち出されていない状況です。

⑩光高等学校 市川 誠博 君

◇授業の中で光市講義いうものがあった、その際に市長さんがフリーWifiを光駅に普及するというをおっしゃっていました。フード店とか様々な場所でインターネットを普及していただけるのはとてもうれしいんですが、あちこちでインターネットのセキュリティが弱かったりして、使えないということが、多々あるんです。そのセキュリティというかインターネットの環境の管理はどうなっているんでしょうか。

○田中議員（司会） たぶん市長の特別授業の時のお話から、光駅フリーWifiというお話とセキュリティについてはどのように取り組んでいるのかというご質問です。すみませんが、実は、各議員が光駅にフリーWifiという話については、初めて耳にしておりますので、答えようがないというところで戸惑っております。セキュリティについては設置する側のセキュリティにはなるとは思いますが、皆さんスマートフォンのアプリでも、フリーWifiの怪しいものを弾くというものもありますので、そういったものも活用して、安全に使っていただけたらと思います。返答のしようがないので、すみませんが、これで許していただけたらと思います。

⑪聖光高等学校 河村 奎汰 君

◇議員になられて変わったこと、例えば、人間関係だったり、地域とのかかわり方だったり、自分自身の人間性など、変わったことを教えてください。

○畠堀議員 市政について情報ツールが一段と広くなり、職員のみなさんからいろいろ教えていただけるし、市民の皆さんの協力も得られるようになりました。議員になる前に比べ活動もしやすくなるし、いろいろな情報も入ってくるようになりました。

○西村議長 どの議員も一緒と思いますが「おかげ様で」とか「お世話になります」という言葉が言えるようになりましたし、どなたに対しても、腰が低くなりました。ぜひ議員を目指して、光市を背負って立ってください。

### 3 傍聴者アンケート集計

(1) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・光の若い力、若い意見はとても分かりやすく、今から光市をどうしたいかという強い想いも、とても良かったです。こういう意見をそのままにしないで、実行してもらえると、もっと光市が良くなると思うので、議員の皆さんも動いてください。
- ・今日の会も本会議同様に、下のモニターにも中継して、入りやすい雰囲気を出すことが望

ましいのでは。案内板も少なく、少し入りづらい。創業が意見として出たが、まだ現在のような支援策もない頃に起業した立場として少し残念に感じるところとしては、例えば、UJIターンに限っていた新規事業に向けては開かれていない等は大きなハードルを感じる。これらの10～15年の間に起業した人に、新たなヒントを得る取り組みも、おもしろいかもかもしれない。

- ・今年も議員の皆様がとても真剣に対応された印象です。大変有意義な会であったように思います。
- ・高校生には、まだまだ知らない部分が多くあると思います。こういった機会に光市について、少しでも多くのことを知ることができるのは、良いと思いました。しかし、光市のことが若い人にはあまり知られていない、議員の方々の働きが知られていないという事は残念です。行政の施策をもっとPRすることの大切さもあると感じました。
- ・光市を知る良い機会となりました。若者の意見を聞くことも、若者に議会のことや光市のことを伝えていくことも大切だと感じました。
- ・光市に50年以上住んでいますが、会議場には初めて入りました。議会は遠い存在です。だからこそ、若い高校生にこのような場を経験してもらうことは、とても意味のあることだと感じます。高校生の発言が活発で、頼もしく思いました。傍聴席には机がないので、アンケート用のバインダーなどがあると書きやすくなると思います。
- ・メンツにこだわる事業を2つ減らして、若い発想の事業（他の自治体がやっていないオリジナル事業）を一つスタートさせてもよいのでは。
- ・まだ、学生の身ということもあり、市政とあまり深く関わることがない中で、高校生がこのような機会に自由に意見が言える場はとても大切だと思いました。
- ・意見交換会を通して、光市の良さや新しい発見がありました。「おっぴい都市宣言」は言葉として知っていましたが、具体的な活動を知らなかったことに気付いた事、市や県を出て、自分の住む市を他人に説明するなら、どのような説明をするかと考えたら、知らないことが多くあるなと気付かされました。私は長門市出身ですが、今は光市民です。自分の住む市を深く知りたいと改めて思いました。また、教育者として、生徒と触れ合う中で、自分の意見をはっきりと相手に伝える力、豊かな心を育てていけたらと感じ、自分の信念を見つめ直す機会になり、有意義なものとなりました。
- ・本日は一部の生徒にしか聴講してもらえなかったが、ぜひ各学校に出かけられ、体育館等を活用され、多くの生徒さんと一緒に勉強したいものです。

## 4 参加高校生アンケート集計

(回答 21 回収率 100%)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか。

- ・理解できた (9) ・ある程度理解できた (12)
- ・あまり理解できなかった (0) ・理解できなかった (0)

(2) 今まで市議会に関心はありましたか。

- ・あった (2) ・少しあった (9) ・なかった (10)

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つことはできましたか。

- ・持てた (14) ・少し持てた (7) ・持てなかった (0)

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか。

- ・積極的にやるべき (21) ・必要性を感じない (0) ・わからない (0)

(5) ズバリ、市議会議員をはじめとする政治家になりたいと思いますか。

- ・なりたと思った (7) ・特になりたくはない (5) ・わからない (9)

(6) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・市議会について、とても難しいイメージがありましたが、今回の意見交換会で楽しいイメージに変わりました。
- ・意外と楽しい雰囲気でした。こういうお偉いさんと話す機会が、もっと増えるといいと思いました。
- ・議会には光市を愛してやまない人が集まっている所だと思います。光市を良くすることを一番に考えてくださるので、議会にこれからも期待しています。今日はありがとうございました。
- ・気軽にお話をしたり、意見を言い合うことが初めてだったので、とても楽しく、またやりたいと思った。今回のように明るく、みんなで作り上げていくという雰囲気で、光市を盛り上げてほしいです。
- ・今回の意見交換会は、これからの光市の活性化につながるとても有意義な時間だったと思います。私も光市民なので、一人の若者として光市に貢献したいと思います。ありが

とうございました。

- ・議員の皆さんは、光市のことをよく考えておられることが分かりました。そして、今回の意見を活用してくれることを願っております。
- ・思ったよりかたくなくて、和やかな雰囲気が出来て、とても良かったと思います。将来もしチャンスがあれば議員になってみたいと思いました。
- ・光市についてあまり真剣に考えたことがなかったので、この機会に考えることができ、よかったです。議員さんともお話しできて、イメージが変わりました。とても貴重な経験でした。
- ・意見の交換で質問できたのがよかったので、もっと市民の声を聴ける機会を設けてほしい。
- ・市議会の方々の意見を聞くという、普段、味わう事の出来ない体験をすることができたことを光栄に思います。議員のみなさんが、どのような思いで議員として働いているのか、光市をどのようにしたいのか知ることが出来て、今後もしこうした会に参加出来たら幸せです。
- ・自分の今までの議員のイメージと違って、とても明るくて良い人ばかりだった。これからも、その笑顔で頑張ってもらいたい。
- ・室積海岸に水上アスレチックを造り、今はやりの Youtube で有名になっている、Fischer's に来てもらえれば人口が増えると思う。
- ・室積の景観は若者にとってもすごく良いものだと思います。お店を増やすなどして活性化してほしいです。
- ・議員さんと直接お話をさせていただくことで、光市のことをもっと詳しく知ることができ、とても良い経験になりました。
- ・日ごろ聞くことのできない質問などができて、良かったです。
- ・若い人を集めるためには、ショッピングモールを開設するといいなと思います。交通機関を増やし、便利にしたり、インスタ映えするスポットを設けるといいなと思いました。今日は参加できて良かったです。
- ・今回、主張させていただきました。議会には初めて参加をし、とてもよい経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・しっかり市民の意見を取り入れてほしいです。

- ・あまり市議会を知らなかったが、とてもよい経験になり、良い機会だったと思います。
- ・将来、私たち若者が光市を担い、これから生まれてくる子どもたちも、働きやすい環境になるようにしていきたい。



参加いただきました皆様、ありがとうございました。

光市議会議員一同